

登録コード	J5200300	開講年度	2026				
授業科目	経済地理学					担当教員	LEE HYUNUK
英文授業名	Economic Geography					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学年	(20/23カリ対象科目)経：3年
講義室	経法第4講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」			【授業の達成目標】		
		経法20加 現代社会が抱える課題に対して、社会科学の専門性を軸足とする解決方法を提案し、自然科学と協働しながら課題解決に導く力を身につける。			・経済地理学に関する基本的な概念やアプローチ方法を説明できるようになる。また、それらを用いて現代社会における経済現象を的確に捉えることができる。		
		経法23加(2026改)・応用経済、経法23加・応用経済 専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。			経済地理学の理論を学び、企業立地行動や生産固定とイノベーションの空間的分離現象と説明できるようになる。		
		【2020年度以降カリ対称対象】専門領域での基礎知識として、経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして、経済理論の応用分野として、金融、公共政策、法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで、専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。			経済学の理論で学んだ利潤の拡大や経済的空間の格差と不均等の問題について学び、社会の経済格差が及ぼす空間的問題と解決方法について具体的に説明できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この講義では、経済地理学において基礎となる理論を紹介し、また現代社会における経済現象を経済地理学の観点から検討します。特に経済活動の立地展開の特徴を理解し、各産業を中心とする経済の空間構造を学習します。基本的にパワーポイントを用いて講義を進めます。受講者には、数回、講義内容に関するコメントシートの提出を求めます。						
(5)授業計画	1 イントロダクション 2 経済地理学の概要 3 チューネンの農業立地論 4 ウェーバーの工業立地論 5 大企業の空間的分業 6 製造業の立地再編と地域への影響 7 クリスタラーの中心地理論 8 産業集積と地域経済 9 集積の理論とクラスター 10人々のキャリアと経済空間 11アジア諸国の企業の立地と変化 12 文化産業の集積とその変容 13 グローバル化の進展と情報通信業の立地 14 創造産業の集積の特徴 15 総括、授業アンケート 16：期末試験						
(6)成績評価の方法	期末試験：70％ 平常点：30％(原則毎回。課題，コメントシート。)						
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	各テーマに関して事前に課題を課すので、各自で取り組んだ上で講義に臨むこと。講義内容の理解を深めるため、講義中に紹介する参考文献の中から興味を持ったものを読んでみること。						
(9)履修上の注意	初回に講義の概要とともに説明するので、必ず出席すること。						
(10)質問,相談への対応	講義後に対応します。						
【教科書】	指定しません。						
【参考書】	講義内で適宜紹介します。						